

令和4年度事業報告書

社会福祉法人 ウェルハート厚生会

実施事業 特別養護老人ホーム ウェルハート明和

地域密着型特別養護老人ホーム ウェルハート明和（ユニット型）

地域密着型特別養護老人ホーム ウェルハート明和（多床室型）

児童発達支援施設 ハッピーキッズ

1. 法人運営について

（1）基本情報（社会福祉法施行規則第2条の4 1 第1号）

- ① 法人名 社会福祉法人 ウェルハート厚生会
- ② 法人事務所所在地 三重県多気郡明和町大字志貴1334番地
- ③ 法人電話番号 0596-55-8800

（2）評議員の状況（同規則第2号）

別紙「評議員名簿」のとおり

（3）理事の状況（同規則第3号）

別紙「役員名簿」のとおり

（4）監事の状況（同規則第4号）

別紙「役員名簿」のとおり

（5）理事会・評議員会の開催状況（同規則第8号）

（理事会）

第1回 令和4年6月11日（土） 書面決議	
議案	1 令和3年度 収支決算の承認について 2 令和3年度 事業報告について 3 令和4年度 第1回定時評議委員会の開催について 4 運営規程の変更について
第2回 令和4年11月8日（火） 書面決議	
議案	1 定款の追加変更について

	2 就業規則（賃金規程）の変更について 3 令和4年度 第2回臨時評議員会の開催について
第3回 令和5年2月22日（水） 書面決議	
議案	1 令和4年度補正予算について 2 監事候補者の選任について 3 苦情第三者委員の選任について 4 令和4年度第3回臨時評議員会の開催について
第4回 令和4年3月30日（木） 書面決議	
議案	1 令和5年度 事業計画（案）について 2 令和5年度 予算（案）について 3 苦情第三者委員の選任について

（評議員会）

第1回 令和4年6月18日（月） 書面決議	
議案	1 令和3年度 収支決算及び財産目録の承認について （報告） 1 令和3年度事業報告について 2 社会福祉事業充実残額の算定結果について
第2回 令和4年11月15日（火） 書面決議	
議案	1 定款の追加変更について
第3回 令和5年3月1日（水） 書面決議	
議案	1 監事の選任について

（6）内部経理監査

日 時：令和4年6月1日（水）

内 容：令和3年度における会計業務執行状況についての内部経理監査

（7）監事監査（同規則第9号）

日 時：令和4年6月3日（木）

内 容：令和3年度決算及び事業報告についての監査

<監事監査おける監査結果>

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、本年度は新型コロナウイルスの影響で書面報告や書面決議であったが理事会に参加し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の執行状況について状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係わる事業報告等（事業報告及びその付属明細書）について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係わる計算関係書類（計算書類およびその付属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2. 監査意見

① 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告等は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に相違する重大な事実は認められません。
- 三 今後下記2点について配慮した運営が求められます。
 - 1) 新型コロナウイルスは依然収束しておらず、高齢者を預かる施設として感染症対策に、引き続き慎重な運営を心がけることが必要です。
 - 2) 新しく取り組み始めた障害福祉サービス事業（児童発達支援事業）は、積極的な地域貢献事業の推進として評価できます。よりよい事業成果を上げられるように、既存事業と同様に年度事業計画のなかに、固有の取り組み目標を定めて事業を推進していくことが求められます。

② 計算書類及び財産目録の監査結果

- 一 計算書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を、全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。
- 二 令和3年度の業績は、前年度まで損失計上していた多床室（地域密着型）事業の採算が改善され、新型コロナ禍で事業費・人件費の増加がありましたが、広域型事業・地域密着型事業とも前年度並みの収益を維持でき、比較的良好な業績であったと認められます。次年度以降の事業を見据え、今後下記2点について配慮した運営が求められます。
 - 1) 立ち上げ2年目の障害福祉サービス事業（児童発達支援事業）がサービス区分で前年度より改善はされていますが、依然採算がとれていません。収益性向上に向けた配慮が求められます。
 - 2) 諸資材や水道光熱費の値上がりなどインフレ（物価高騰）の影響が出始めています。適正な業績を確保するため、各経費類の動向に配慮が必要で、必要に応じて適切な対応を取るなど経費コントロールへの取り組み継続が求められます。

(8) 法人情報の公表等の状況（同規則第13号）

①主たる事務所への備え置き

事業報告書（付属明細書含む）・貸借対照表及び収支計算書（付属明細書含む）財産目録・定款・監事監査報告・役員名簿・事業計画書

②インターネット・ホームページを活用した情報公開

定款・現況報告書・事業報告・貸借対照表・収支計算書・財産目録・監事監査報告

(9) 社会福祉充実残額の算定根拠（同規則第14号）

別紙「社会福祉充実残額」のとおり

(10) 明和町介護保険サービス事業所実地指導

日 時：令和5年3月10日（金）

＜実地指導結果＞

- ① 令和3年度介護職員処遇改善実績報告書・介護職員等特定処遇改善実績報告書について不備事項留意し、改めて再調整して提出すること。

令和5年4月14日に提出済み。

- ② 届出内容を証明する資料の保管について

対応済み

2. 施設運営について

はじめに

令和4年度は、年間を通してコロナウィルス感染症対応に注意し、職員個々が自粛生活を心がけ水際対策につとめたことで、入居者様に感染症を出すことなく、施設運営を継続することができました。前年同様面会や外出行事等を制限したことにより、入居者様の生活に少なからず影響が出ました。そのため、広域、地域密着の各施設で実施する行事については、季節を感じていただけるよう工夫しながら開催しました。

なお、懸案となっている面会については、窓越し面会やオンライン面会の活用と電話でのやりとり等でご家族様との関係性を保つことができるよう努めました。

感染防止の観点から、4年度事業計画の重点目標の一つであった地域住民とのかわりは不十分な結果となりましたが、他の重点目標については法人の理念である「のんびり」「一緒に」「楽しみながら」を念頭に努力したことが概ね反映されたと思います。

(1) 職員の状況（同規則第6号）

【ウェルハート明和】（表1）

職 種	令和4年4月1日現在	令和5年4月1日現在
施設長	1名(常勤)	1名(常勤)
事務長	1名(常勤)	1名(常勤)
介護支援専門員	2名(常勤) 1名(常勤)(生活相談員兼務)	2名(常勤) 1名(常勤)(生活相談員兼務)
生活相談員	1名(常勤)	1名(常勤)
看護職員	6名(常勤)	6名(常勤)
機能訓練士	1名(常勤)	1名(常勤)
介護職員	39名(常勤) 13名(非常勤)	40名(常勤) 13名(非常勤)
管理栄養士	1名(常勤)	1名(常勤)
事務員	1名(常勤) 1名(非常勤)	1名(常勤) 1名(非常勤)
宿直員	4名(非常勤)	4名(非常勤)
清掃員	4名(非常勤)	4名(非常勤)
合計	常勤54名 非常勤22名	常勤55名 非常勤22名

(採用・退職等の状況：ウェルハート明和) (表2)

日付	採用	退職
令和4年4月	施設長 1名(常勤) 介護職員 1名(常勤)	
令和4年5月		介護職員 1名(非常勤)
令和4年7月	介護職員 1名(常勤)	
令和4年8月		介護職員 1名(常勤)
令和4年9月		介護職員 1名(常勤)
令和4年10月	介護職員 1名(常勤)	
令和4年12月	介護職員 1名(常勤)	介護職員 1名(非常勤)
令和5年2月	介護職員 1名(非常勤)	介護職員 1名(非常勤)
令和5年3月		介護職員 2名(常勤)
合計	常勤 5名 非常勤 1名	常勤 4名 非常勤 3名

(2) 施設入所実績

◎ウェルハート明和

入居状況をみると、年間目標の95%は達成したものの、入居者様の平均介護度が4を超えて依然として重度者の割合が高い状況の中、入院患者数も多く、例年以上に空床が発生しました。

短期入所については、同居家族の体調不良や就労先及び学校等でのコロナウィルスの発生状況の影響により利用を延期、またはキャンセルがありましたが、感染症拡大防止の対応を徹底したうえで、緊急依頼に対しても柔軟な受け入れに努めました。今後とも、協力医療機関や病院との情報共有をより密にし、空床利用しているショートステイ事業の効率的な運営を図ってまいります。

・入院による年間の空室延べ日数の推移（表3）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	937日	995日	1,081日
地域密着（ユニット型）	396日	93日	139日
地域密着（多床型）	49日	114日	32日

・年間平均稼働率（目標95.00%）の推移（表4）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	95.22%	95.45%	95.07%
地域密着（ユニット型）	94.44%	98.51%	98.08%
地域密着（多床型）	96.53%	95.27%	99.04%

・年間平均介護度の推移（表5）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	3.97	3.95	4.10
地域密着（ユニット型）	4.19	4.09	4.08
地域密着（多床型）	3.71	4.14	4.02

・短期入所事業利用日数の推移（表6）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	118	143	380
地域密着（ユニット型）	39	8	54

地域密着（多床型）	0	17	7
計	157	168	441

・看取り件数(表7)

令和4年度において、24名の方が退居されました。

退居理由の内訳は、入院による退居が2名。他施設へ移られた方が3名（内1名は当施設の地域から広域）ご逝去による退居が20名でした。ご逝去された内8名の方の看取り介護を実施いたしました。何れのご家族様からも、コロナ禍にあっても最期を傍で見送ることができたと、感謝の言葉をいただきました。

看取り件数	令和4年度
広域ユニット	6
地域密着（ユニット型）	1
地域密着（多床型）	1
計	8

・苦情への対応(表8)

令和4年度にいただいた苦情12件のうち、10件は入居者様ご本人とご家族様からの苦情でした。その他の2件は、短期入所事業に対する苦情で、ご本人からと居宅介護支援事業所からのものでした。

苦情件数	令和4年度
ケアの内容にかかわる事項	7
個人の嗜好・選択に関わる事項	1
その他(事務手続き、面会場所等)	4
計	12

・事故報告・ヒヤリハットの推移（表9）

ハインリッヒの法則では、一つの事故の背景には300のヒヤリハットが発生しているとされています。

事故を減らすには、このヒヤリハットを掘り起こしてうまく活用できれば、事前に安全対策を行うことができます。いかにして気づきを増やしていくかが課題です。

また、入居者様の高齢化や重度化が進む中、転倒・転落事故が増えており、見守りシステムの導入を検討する必要があります。

事故報告	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	53	82	95
地域密着（ユニット型）	35	36	58
地域密着（多床型）	11	7	11
計	99	125	164
ヒヤリハット	令和2年度	令和3年度	令和4年度
広域ユニット	34	30	46
地域密着（ユニット型）	41	147	134
地域密着（多床型）	3	13	17
計	78	190	197

◎令和4年度事業計画の重点目標について

（1）良好なコミュニケーションの構築

- 入居者様と職員及び職員同士の良好なコミュニケーションを図り、入居者様に安心して落ち着いた生活をしていただけるよう、「“気づき”と“ゆめ”」をテーマに各種イベントや SNS 発信を通じ、良好な関係を築きることが出来ました。
- 地域住民とのかかわりでは、新型コロナウイルスの感染拡大により、事業を中止せざるを得ませんでした。
- 地域の方々の福祉ニーズに対する取組についても、コロナウィルス感染症の影響で、年6回予定していた地域密着型運営推進会議を4回開催するにとどまりました。

（資料1参照）

（2）職員向上計画の充実

- ① 職員の資質向上に関し、様々な方向から支援し良質なサービス提供につなげました。
各種研修会にオンラインで参加し、特に、内部の勉強会では、全員参加の体験型実習を実施しました。（資料2・3参照）
- ② 人づくり職員の定着に向けた取り組み
 - 各種委員会にはリーダーだけではなく、現場の職員も委員として参加して、委員会活動の活性化を図りました。
 - 職員の資質の向上と職場定着を図るため、個別のキャリアコンサルティングを実施して

います。

令和4年度は介護職4名に実施しました。(表10)

実施対象区分		
入社3か月以内の職員	入社3年目の職員	随時(施設から推薦のあった職員)
3名	0名	1名

- ・入居者・ご家族様からの職員へのカスタマーハラスメントに組織として対応するべく契約書等を変更し、その旨職員に周知しました。
- ・令和4年度に社会福祉法人ウェルハート厚生会の表彰規程と職員永年勤続表彰規程を定め、職種・勤務形態を問わず法人の経営する施設に勤続10年を迎えた職員8名に記念品を添えて感謝状を贈呈しました。
- ・外国人職員の受け入れ環境の整備

令和3年度に県からの補助金の交付決定を受け建設をしていた寮が、当初の計画通り令和4年の8月中旬に完成いたしました。現在、4名の外国人が入寮しています。

③ 医療の必要な入居者が増加傾向にある中で、今後喀痰吸引が必要な入居者が増えることも予想され、喀痰吸引の資格を有する職員の確保が課題となっています。

令和4年度は、資格取得の対象となる職員に喀痰吸引等研修を行い、6名の特定行為従事者を養成しました。また、認定特定行為従事者の有資格者2名を採用しました。

- ・喀痰吸引有資格者(表11)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
特定行為従事者	0名	0名	6名
認定特定行為従事者	3名	0名	5名
累 計	3名	3名	11名

※特定行為従事者・・・介護福祉士で社会福祉振興・試験センターが発行する介護福祉士登録証に、研修が修了していることが明記されている介者

※認定特定行為従事者・・・介護職員(介護福祉士含む)で県が発行する認定証を有する者

(3) 施設運営対策

- ・令和4年度の介護報酬の改定について、改定内容を十分に精査し、運営(請求)基準を満たすよう適切に対応しました。
- ・特養の入居者様の受け入れや短期入所事業については、利用の際に抗原検査を実施するとともに、全職員に対しても抗原検査キットを配布し、水際対策に努めました。

- ・コロナ禍の中、外出制限やご家族様とのガラス越しの面会など、入居者様にご不自由をかける中、少しでも楽しんでいただこうと、各ユニットにおいてレクリエーションを実施しました。（資料4. 5参照）
- ・令和元年度から入居者様やご家族の希望にできるだけこたえようと、「ゆめプロジェクト」を実施しています。令和4年度も入居者様からの、入居前に過ごしていた場所を一目見たいとの要望に応えることができました。

（4）「魅力ある職場づくり」

- ・県の介護従事者確保事業費補助金（ICT事業）を活用して「福祉見聞録」の契約更新にあわせ、バージョンアップを行い職員のシステム上の負担軽減を図りました。
- ・県の介護従事者確保事業費補助金（ロボット導入支援事業）を活用して、あじさい・わかばユニットに入浴用リフトを設置し、職員の負担軽減に努めました。

◎非常災害対策について

①消防訓練の実施

- ・令和4年 5月21日（土）第1回火災防災訓練（昼間を想定）
- ・令和4年11月19日（土）第2回火災防災訓練（夜間を想定）

②令和4年度に行われた会計検査において、令和2年度に地域密着に設置した非常用発電装置の、嵩上げを検討するようとの指導がありました。

③東南海地震に備えた地元志貴地区との避難協定を、自治区長と協議の上見直しました。

◎施設管理について

開設後10年が経過し、建物の痛みや設備に不具合が生じてきており、令和4年度はその対応に追われました。

◎施設内の保守管理について

定期点検、定期清掃の記録

定期検査（防火設備）	令和4年 5月31日
消防用設備点検	令和4年11月19日
電気工作物点検	毎月
エレベーター保守点検	令和4年 4月19日、令和4年7月19日 令和4年10月18日、令和5年1月17日
エレベーター法定点検	令和5年 1月27日
浄化槽保守点検	毎月
浄化槽清掃実施	令和4年11月25日

浄化槽法定検査 令和4年12月20日

飲料水貯水槽清掃 令和4年6月10日

飲料水水質検査 令和4年7月28日

◎職員の健康管理について

定期健康診断の実施

全従業員対象 令和4年4月 62名実施（ハッピーキッズ含む）

夜勤従業者対象 令和4年10月 32名実施

◎給食について

- ① 美し国(給食)委員会で管理栄養士によるお食事の様子伺いや聞き取り結果を、委託業者との話し合いの場で反映させることで、食事の質の向上を図ることができました。
- ② 令和5年1月～2月にかけて嗜好調査を実施 回答率100% 無回答0

◎ハッピーキッズ

キャンセル率の課題に対して、7月よりLINEを活用して臨時でご利用いただける方を随時募り利用率が下がらないようにしたことにより、利用率が安定しました。また、利用者様の口コミやSNSを通して施設の認知度もあがり、利用者増加に繋がりました。

職員の資質向上に関し、各種研修会にオンラインで参加し、様々な方向から支援し良質なサービス提供につなげました。(資料7参照)

(1) 職員の状況

【ハッピーキッズ】 (表12)

職 種	令和4年4月1日現在	令和5年4月1日現在
児童発達支援管理 責任者	1名(常勤)	1名(常勤)
保育士	3名(常勤)	3名(常勤)
理学療法士		1名(常勤)
合計	4名	5名

(採用・退職等の状況：ハッピーキッズ) (表13)

日付	採用	退職
令和4年4月	保育士 1名(常勤)	
令和4年5月		
令和4年7月		
令和4年8月		
令和4年9月		
令和4年10月		
令和4年12月		
令和5年2月		
令和5年3月		保育士 1名(常勤)
合計	常勤 1名 非常勤 名	常勤 1名 非常勤 名

(2) 利用実績

【令和5年3月時点契約者数：36名 令和4年度延べ利用人数：2,273人】

	利用率	延べ利用人数
4月	73.8%	155人
5月	79.5%	175人
6月	80.0%	176人
7月	87.1%	183人
8月	87.7%	193人
9月	92.7%	204人
10月	91.9%	193人
11月	95.5%	210人
12月	91.4%	192人
1月	91.0%	182人
2月	98.5%	197人
3月	92.6%	213人
年間平均	88.5%	189人

資料1 ◎令和4年度会議等の開催について

月	内 容	担当者
4	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
5	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	コロナ感染拡大により中止（会議資料郵送）
6	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
7	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	施設長、介護主任、ケアマネ、明和町、民生児童委員 自治会長、家族様、入居者様代表
8	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
9	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	コロナ感染拡大により中止（会議資料郵送）
10	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
11	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	施設長、介護主任、ケアマネ、明和町、民生児童委員 自治会長、家族様、入居者様代表
12	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
1	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	施設長、介護主任、ケアマネ、明和町、民生児童委員 自治会長、家族様、入居者様代表
2	※1ユニット会議 ※2運営委員会	
3	※1ユニット会議 ※2運営委員会 ※3運営推進会議（地域密着型）	施設長、介護主任、ケアマネ、明和町、民生児童委員 自治会長、家族様、入居者様代表

資料2

令和4年度 全員勉強会

月	内 容		担当者
4	ユニットケア運営費について	ユニット別	ユニットケア推進室
5	ヒヤリハット(ハインリッヒの法則) 事故報告を書く目的・書き方のポイント	全体	事故対策委員会
6	一次救命措置	全体	看護職員 ユニットリーダー
7	家庭で出来るストレッチ 腰痛予防・ケガ予防	全体	安全衛生推進会
8	災害対策 (BCP)	ユニット別	災害対策室
9	カスタマーハラスメントについて	ユニット別	苦情対策委員会
10	防護服の着脱	ユニット別	感染症委員会
11	高齢者虐待防止(人権)	ユニット別	権利擁護推進委員会 防災教育※避難訓練(夜間想定)
12	褥瘡対策 (ポジショニング)	ユニット別	褥瘡対策委員会
1	情報発信のポイント	全体	企画広報委員会
2	嘔吐物処理勉強会	ユニット別	感染症委員会
3	嗜好調査集計結果について とろみ調整食品の手引き	ユニット別	美し国委員会

【職員外部研修】

主催	研修項目	受講者
三重県社協	キャリアパス対応生涯研修「チームリーダーコース」	エリアリーダー
三重県社協	キャリアパス対応生涯研修中堅研修	エリアリーダー
三重県栄養士研究会	三重県福祉栄養士研究会資質向上研修事業	管理栄養士
みえテクノエイドセンター	福祉用具セミナー2022「褥瘡予防具の選び方・使い方」	看護師
三重県社協	福祉職場の人材育成	施設長
三重県医療保健部	新型コロナウイルス感染症対策研修会	看護主任
三重県福祉監査課	社会福祉法人運営研修会	施設長
三重県 三重大学 みえ防災・減災センター	令和4年度社会福祉施設における実効性のある避難対策推進事業市町・社会福祉施設担当者向け研修会	施設長
三重県社協	令和4年度自主企画研修「コロナ渦でのフレイル予防・レクリエーション」	機能訓練指導員
三重県老協	カスタマーハラスメントに負けない介護事業所の作り方研修会	施設長
労働安全センター	公正採用選考研修会	施設長
三重県福祉人材センター	介護助手に関する法人向けオンラインセミナー	施設長
三重県・三重大学	令和4年度第1回三重県感染対策支援ネットワーク研修会	施設長・看護主任
三重県社協	ICT・介護ロボットの導入・普及促進研修会	施設長・生活相談員
三重県社協	令和4年度課題別専門研修「断らない相談と包括支援体制～ソーシャルワーカーの役割とは～」	生活相談員
松阪労働基準監督	小売業、社会福祉施設における転倒災害、腰痛の防止に関する研修会の実施について	施設長
認知症介護基礎研修	明慎福祉会（6時間研修）	柳瀬美波
県感染症対策課	令和4年度第2回三重県感染対策ネットワーク研修会	看護主任
明和町地域包括支援センター	施設従事者による虐待防止	施設長・介護支援専門員
三重県老協	人権及び権利擁護に関する研修会の開催について	施設長
労働安全センター	webセミナー（介護労働者雇用管理責任者講習）	施設長
三重県社協	管理者研修	生活相談員
(株)ウェルエナジー	実務者研修	衛藤海音
三重県老協	介護事務所における事業継続計画(BCP)災害編研修会 食の事業継続	施設長・管理栄養士
三重県老協	元気な職場を作る、みんなを笑顔にするリーダーシップの極意	ユニットリーダー
三重県社協	社会福祉施設等における事業継続計画(BCP)策定研修会	施設長・生活相談員・南機能訓練指導員
三重県社協	介護事故を防ぎ安全なケアを行うために	看護主任
老協	防災研修会	施設長・機能訓練指導員
老協	排泄ケアに関する研修会	看護師2名
労働安全センター	webセミナー（介護労働者雇用管理責任者講習）	施設長
情報分析・検査プロジェクト	新型コロナウイルス感染症対策研修会	施設長
三重県老協	「介護の生理学」研修会	介護支援専門員
松阪保健所	令和4年度給食施設従事者オンライン研修会	管理栄養士
三重県社協	災害時福祉支援リーダー養成講座	機能訓練指導員
三重県福祉栄養士研究会	三重県栄養士研究会オンライン研修について	管理栄養士
厚生労働省	BCP研修	施設長・機能訓練指導員

資料4

令和4年度 広域ウエルハート明和 レクリエーション一覧

NO	日付	レクリエーション名	ユニット名
1	4.8	伊勢市大湊へ行く生まれ故郷の思い出づくり（入居前の居住地）	あじさい
2	4.26	季節を感じていただき、気分転換をしていただく。（桜見ドライブ）	くるみ・わかば
3	5.25	一緒に手作りしたおやつを食べていただく（ホットケーキ）	くるみ・わかば
4	6.1	季節を感じていただき、気分転換をしていただく。（あじさい見学とドライブ）	もみじ・あじさい
5	6.16	カレーを一緒に調理し、匂いや音を楽しんでいただく	もみじ・あじさい
6	7.6	祭り気分を感じてもらって気分転換をしていただく（七夕祭りでゼリーづくり）	くるみ・わかば
7	7.24	ミニ夏祭り2022（ユニット内で夏祭りをして涼をとる）	もみじ・あじさい
8	7.27	季節を感じていただく（スイカ割）	くるみ・わかば
9	8.21	サンドウィッチバイキング(好きなサンドウィッチを選んで食べていただく)	もみじ・あじさい
10	8.24	夏祭り（お祭り気分を感じていただく）	くるみ・わかば
11	9.15	季節を感じていただく（花火大会）	くるみ・わかば
12	9.21	敬老の日（お団子づくり）	くるみ・わかば
13	11.9	秋だね・・・（季節の味覚を味わっていただく）	くるみ・わかば
14	12.17	バースデーご家族と面会（家族と一緒に時間を過ごしていただく）	ダリア
15	12.17	季節の行事を楽しんでいただく（クリスマス&忘年会）	ダリア・りんどう
16	12.22	サンタが今年もやってくる（プレゼントを配りクリスマス会を楽しむ）	くるみ・わかば
17	12.25	季節の行事を楽しんでいただく（クリスマスパーティー）	もみじ・あじさい
18	1.1	正月のおやつ（正月は少し贅沢をしよう）	もみじ・あじさい
19	1.25	そうだカレーを食べよう（スタッフ手作りのカレーを味わっていただく）	くるみ・わかば
20	2.15	季節を感じる行事を行う（ハッピーバレンタイン）	くるみ・わかば
21	3.15	パフェ・おやつタイム（パフェ作りをし、楽しいひと時を過ごしていただく）	くるみ・わかば
22	3.28	ドライブin伊勢（月夜見さんへ行きたいというご本人の意向に応える）	りんどう

資料5 令和4年度 地域密着型ウエルハート明和 レクリエーション一覧

NO	日付	レクリエーション名	ユニット名
1	4.5	美杉村へ行く生まれ故郷の思い出づくり	地域密着
2	5.4	中庭に夏の野菜を植えよう	地域密着
3	5.19	手こね寿司をつくる（要望に応え）	地域密着
4	5.25	誕生会(白寿を祝う)	地域密着
5	6.13	中庭でバーベキュー	地域密着
6	7.13	季節を感じる行事を行う。（要望のあった穴子ちらし、そーめんを提供する）	地域密着
7	8.10	スナックike(いつもと違った雰囲気ですごす)	地域密着
8	9.1	夏を感じる行事を行う（かき氷を提供、音・味を楽しんでいただく）	地域密着
9	10.3	ハロウィン（いつもと違った雰囲気ですごす）	地域密着
10	12.2	季節を感じる行事を行う（クリスマス会）	地域密着
11	2.18	季節を感じる行事を行う（ハッピーバレンタイン）	地域密着
12	3.3	季節を感じる行事を行う（花見）	地域密着

資料6 参考資料

○令和5年3月31日現在

市町別入居状況

広域ユニット	明和町	松阪市	伊勢市	玉城町	度会町	南伊勢町	鳥羽市	津市	橿原市	計
男	6	0	4	1	0	1	0	1	0	13
女	21	9	11	2	1	1	1	0	1	47
計	27	9	15	3	1	1	1	1	1	60

地域ユニット	明和町
男	3
女	17
計	20

地域多床室	明和町
男	0
女	9
計	9

要介護度別の状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
広域ユニット	1	0	15	25	19	60
地域ユニット	0	0	5	11	4	20
地域多床室	0	0	3	2	4	9
計	1	0	23	38	27	89

年齢層別の状況

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	計
広域ユニット	0	2	7	25	26	0	60
地域ユニット	1	2	2	9	6	0	20
地域多床室	0	0	0	4	5	0	9
計	1	4	9	38	37	0	89

○令和4年4月1日～令和5年3月31日

救急搬送の状況

月別搬送者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	5	1	2	2	1	1	1	0	5	2	2	2	24
地域ユニット	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	1	6
地域多床室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
計	5	1	2	2	3	1	2	0	6	3	3	4	32
搬送先病院別内訳	松阪市民	4	松阪中央	17	松阪済生会	11							

入退去の状況

月別入居者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	0	2	2	0	3	1	1	3	1	3	3	2	21
地域ユニット	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
地域多床室	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
計	0	2	2	0	3	2	1	3	2	3	3	3	24
月別退去者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	2	2	1	1	2	3	1	2	3	3	1	0	21
地域ユニット	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
地域多床室	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
計	2	2	1	1	2	3	2	3	3	3	1	1	24

4年度月別事故及びヒヤリハット数 内行政報告した事故件数 14件

月別事故件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	8	8	11	10	10	7	9	7	4	8	3	10	95
地域ユニット	3	1	8	10	8	7	1	3	3	5	8	1	58
地域多床室	1	0	0	2	0	3	2	0	1	0	0	2	11
計	12	9	19	22	18	17	12	10	8	13	11	13	164
月別ヒヤリハット数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	5	5	10	2	5	0	2	6	6	2	3	0	46
地域ユニット	2	9	8	10	20	9	9	5	6	12	25	19	134
地域多床室	4	1	3	4	2	1	0	1	0	0	0	1	17
計	11	15	21	16	27	10	11	12	12	14	28	20	197

月別短期入所利用状況

3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	21	0	0	4	4	0	8	40	46	13	0	7	143
地域ユニット	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8
地域多床室	0	0	0	0	3	0	3	11	0	0	0	0	17
計	21	0	0	4	7	0	11	59	46	13	0	7	168
4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
広域ユニット	3	8	26	17	19	39	48	31	28	75	47	39	380
地域ユニット	0	0	0	0	21	6	0	6	7	3	11	0	54
地域多床室	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7
計	3	8	26	17	40	45	55	37	35	78	58	39	441

資料7

令和4年度ハッピーキッズ職員研修内容報告

日時	場所	講師	参加者	内容
4月16日 (土)	ハッピーキッズ	濱田 匠 (鈴鹿医療医大 学)	奥山・竹中 西口・大上	【作業療法・感覚統合の視点を療育に繋げる】 ・作業療法の視点から子供の動作習得のステップの確認 ・ご利用児童のケースごとの事例検討 ・事業所の遊具を使用した、感覚に偏りのある児童へのアプローチ方法
5月16日 (月)	ハッピーキッズ (オンライン)	山内 康彦	奥山・竹中 西口・大上	【SSTスキルアップ講義】 ・児童のソーシャルスキル獲得のための環境整備 ・プログラム立案方法など
6月3日 (金)	多気郡地域児童発 達支援センター	押川 武将 (理学療法士)	奥山・竹中	【こどもの可能性を引き出す巧技台～運動好きになるための巧技台の使い方～】 ・巧技台を使用した運動発達へのアプローチ方法、有用性 ・子供の運動発達の基礎知識
6月29日 (水)	オンライン	山内 康彦	奥山・竹中 西口・大上	【応用行動分析の実践】 ・応用行動分析の基礎知識 ・望ましい行動を増やすためのアプローチ方法
10月4日	オンライン	秋元雅仁 (皇學館大学教育 学部教授)	奥山・竹中 西口・大上	【繊細な子供の理解と支援】 ・HSC (Highly Sensitive Child) の基礎知識 ・HSCに対する支援や配慮について